

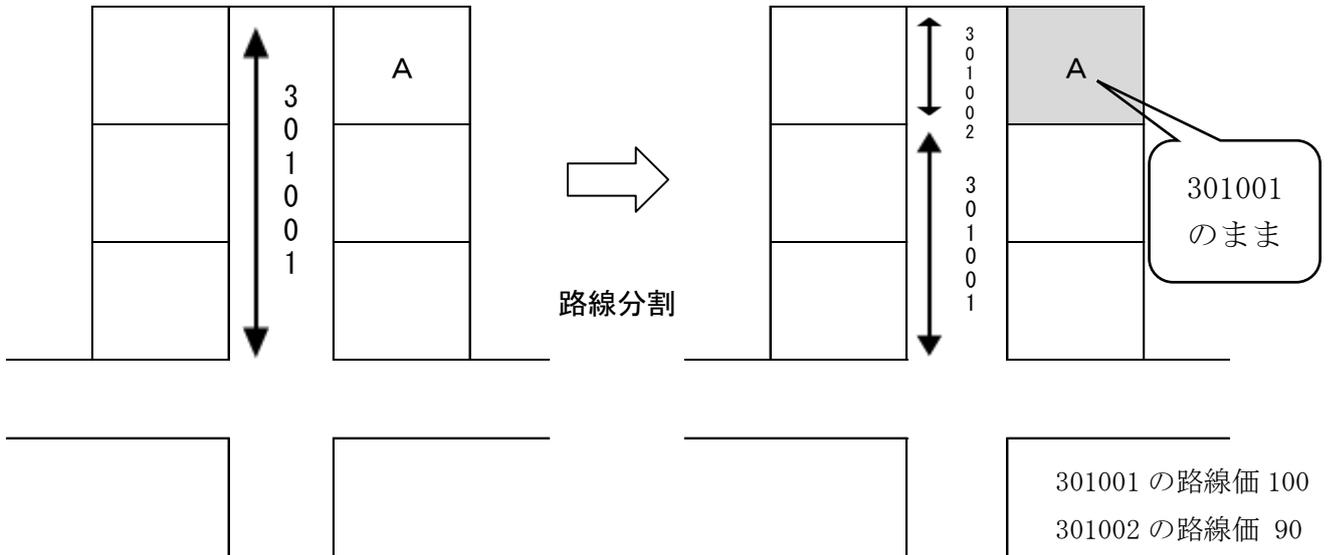
別紙

○評価誤り原因（図示）

※ 301001、301002 などは路線の管理番号

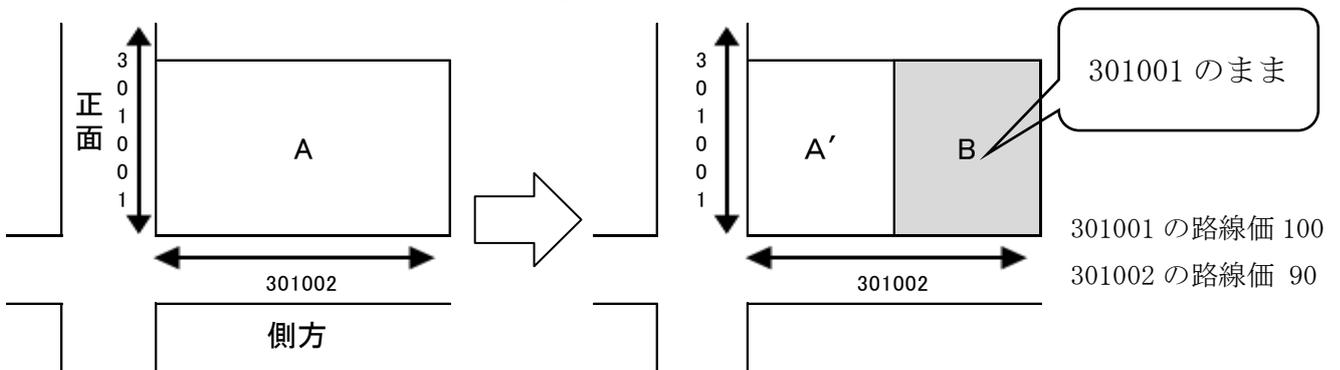
① 評価替え時に、路線状況の変化に伴って従来の路線を複数に分割したが、分割後の正しい路線の管理番号にデータ修正していなかったこと。

（例）路線を 301001 と 301002 とに分割したため、土地Aの正面路線は 301002 となるが、301001 のままにしていた。



② 分筆時に正面路線が変わったが、分筆前の路線の管理番号のままにしていたこと。

（例）土地Aを土地A' と土地B とに分筆したため、土地Bの正面路線は 301002 となるが、301001 のままにしていた。



③ 似たような路線の管理番号で誤ってデータ入力したこと。

（例）土地Aの正面路線は 301122 とシステム入力するところを 301123 と入力していた。

